

学校評価書（令和3年度）

学校法人 浜松平和学園 旭ヶ丘幼稚園長 林 利幸
学校法人 浜松平和学園 旭ヶ丘幼稚園 学校関係者評価委員長 伊藤 清子

| 1. 幼稚園教育目標 「明るく たくましく やる気のある子」 | | | | | |
|---|---|-------|--|---------------|--|
| 2. 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画) ○ 生活に必要な、健康・安全の習慣を身につける ○ 諸活動を通して人間関係を深め社会性を養う ○ 教職員の資質向上の1UPを図る | | | | | |
| 3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果 ※評価点は、4(十分に成果があった)3(成果があった)、2(少しの成果があった)、1(成果がなかった)の数値を表す。 | | | | | |
| 評価項目 | 園としての取り組み(観点) | 自己評価点 | 幼稚園としての反省と改善策 | 学校関係者評価委員会評価点 | 学校関係者評価委員会の意見 |
| ① 保育の計画性 | <ul style="list-style-type: none"> ・園児の実態に合った教育課程や行事が組まれているか ・指導計画の評価を定期的に行い指導に生かされたか | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・行事のねらいを明確にし、コロナ対策を十分考慮しながら子どもが主体的に参加できるよう計画した。しかし、コロナの状況が見えないため、直前の計画変更もあり、保護者に迷惑をかけたこともあった。 ・行事や保育終了後には振り返り、反省、考察することを心掛けた。 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の大変な年ではあったが、保護者の意見には賛否両論ある中、行事に対していろいろと工夫し、開催して頂き感謝しかない。開催方法の意図を細かく伝えていけば、納得してもらえると思う。これからも、丁寧な説明を心掛けていくとよい。 ・行事を単に中止することなく、可能な範囲で実施し、振り返ることで次の行事に活かしている。 |
| ② 保育のあり方、幼児への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・個の発達にあわせた保育に心掛けたか ・基本的な生活習慣をおろそかにしない保育であったか ・子供同士の心の通い合いを大切にできたか | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階や特性、性格を踏まえた上で、個に合った援助や言葉掛けに努めた。また、学年、クラスにかかわらず名前をできるだけ覚え声掛けに生かした。 ・今後も3年間を通して基本的な生活習慣と共に浜松市の指針にある「幼児期に育てたい力」を念頭に置き、しっかりと身につけられるよう全職員が共有し指導をしていきたい。 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・公開保育の際に、年少児がトイレに行った後にスリッパを揃えており、日頃からしっかりと生活指導をしている様子を伺い知ることができた。 ・子どもがきちんと座って話を聞いている等、小学校生活にスムーズに移行できるようしっかりと経験を通して指導している。 ・担任以外の先生も子ども一人ひとりを大切に観てくれている。 |
| ③ 教師としての資質、能力、適性 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容の事前準備や事後処理が適切であったか ・環境整備に気を配り適切に対処できたか ・係の一員として自分の力を発揮したか | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安全、安心して園生活を送り、進んで活動に取り組められるよう予測、見通しを立てて事前準備や環境設定に努めた。 ・個々に与えられた仕事は責任もって行い、改善すべき点は全職員に伝え、次回に生かすようにしていきたい。 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・来園すると、職員が必ず手を止めて保護者と目を合わせて明るいあいさつをしてくれるので、とても感じが良い園である。 ・先生方が、卒園した子供を覚えていてくれることに感謝している。 |
| ④ 保護者への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・園と家庭間の連絡に滞りがなかったか ・子供の社会性や成長を保護者と共有しながら保育できたか | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノート、電話、面談を通して子どもの成長を保護者と共に喜び共有していくよう努めた。また、常に明るい挨拶と笑顔を心掛け対応した。 ・保護者からの要望、意見には迅速に対応し、園の方針とズレが生じた場合は信頼関係の構築を大切に共通理解の確立を図っていく。 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートには親の見えない子どもの特徴や様子を丁寧に伝えてくれて、大変ありがたい。 ・日々の生活の中で、些細なことでも気を遣ったり、怪我をした際には丁寧に説明してくれたりしている。 ・連絡アプリが、以前より細かく届くようになり、園の様子が分かりやすくなった。 ・保護者への対応がとても丁寧であり、かえって先生方に負担をかけていないか心配している。役員としてできることがあれば、協力したい。 |
| ⑤ 地域の自然や社会との関わり | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や施設を活用できたか ・地域への開放や子育てへの支援ができたか | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中でも子ども達が自然に触れ合う体験や社会見学ができる施設に出向き、利用上のマナーや安全指導を行い活用することができた。 ・園開放では、内容を見直し親子で楽しめる場を作ると共に、気軽に相談できるような環境にも心掛けた。 ・子育て支援講座の実践のあり方を探っていく。 | 3.6 | <ul style="list-style-type: none"> ・園長の「お手伝いをしましょう」という呼びかけが、子どもに浸透しており、健やかな家庭生活の成長につながる言葉掛けが大変ありがたい。 |
| ⑥ 研修と研究 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会に参加し研修で得たものを保育等の実践に生かすことができたか ・園内研修に自分の考えを反映することができたか | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育上の課題に関する研修や各自の資質向上のための研修に可能な限り参加し、新たな発見や自分の保育を見つめ直すことができた。 ・各教員が考えた保育内容を、学年研修を通して吟味、再構成することで深め、実践することができた。 ・今後は研修報告をする時間を設け、教職員で内容を共有していく。 | 3.8 | <ul style="list-style-type: none"> ・3学年全ての公開保育を見て、小学校に入学してくる子どもの成長がわかり、幼少連携の大切さが分かった。 ・小学校1年の担任が幼稚園研修を終えると、幼稚園教諭の大変さを口にするが、その幼児教育から小学校、中学校と繋がっていく様子を各校種で研修することが必要だと実感した。 |
| ⑦ 外部アンケート | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のアンケート結果を把握し日常の活動に生かされたか | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・各行事後に寄せられる保護者の言葉を学年で共有すると共に、アンケート結果を常に意識し、教育課程に反映するよう努めた。 ・本年度から記名式にしたことで、保護者の思いを直接感じられるようになり、個々の対応ができた。 ・今年度の評価結果の維持向上に努める。 | 3.9 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でバスの利用が減り、送迎の車が増えたために、駐車場の入口が狭いため怖い時がある。一方通行にしてほしい。 ・給食のメニューと年代にあった量であるかが気になる。小学校につなげられるよう、米飯の回数が増やせないか。また、残菜が多く、子どもたちの目に触れることがあるのが気になる。食育の観点からも改善してほしい。 |